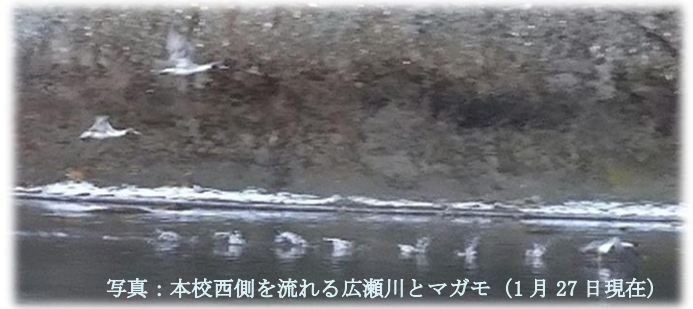




宮城県第二工業高等学校 校長 今野 好彦

Tel 022-221-5659 Fax 022-221-5655



写真：本校西側を流れる広瀬川とマガモ（1月27日現在）

## 第3学期始業式

第3学期始業式が1月6日（金）に行われました。新年を迎え、今野好彦校長先生からは次のような式辞がありました。

### 《式辞要旨》

皆さん、あけましておめでとうございます。今年度も残すところ僅かとなりました。皆さんにとって集大成の学期になります。1日1日の積み重ねを大切にしてください。年の初めにあたり『人間力』について話をします。ある本に掲載された自動車販売会社代表取締役社長山口雅之氏のお話からです。



「人は親孝行をすると生まれながらに持っている良いものがどんどん湧き出てきてその人間をよくする、と信じています。カーディーラーでは自動車販売は9割が人間で決まる、と思っています。車は形や名称こそ違え、商品の差はどんどん小さくなっています。お客様がなぜその店で購入するかといえば「このお店から買いたい」と思っただけかかどうかの差にかかっている。つまり販売に携わる人の『人間力』の差、その人が、魅力的かどうか、お客様の気持ちにつながるような気がします。

この『人間力』は決してテクニックではなく、言葉の巧みさでもありません。普段の心がけや誠意ある仕事に対して信頼を得て、向上させていくしかないと思います。親孝行のように相手を幸せにする、という積み重ねによって人は良い人間になる。その人柄が振る舞いや話し方、すべてににじみ出て魅力的な人間になると思います。」というものでした。皆さんも日常の営みの中で、目にする人、接する人から感じることはないのでしょうか。自分もあのような人になりたいと思うことはいろいろな場面であると思います。

今年1年、普段の生活の中で意識して、自分自身の『人間力』の向上に努める、ということ今年を目標のひとつに加えてみてはどうでしょうか。皆さん一人ひとりが周囲の人達から好感をもたれ一層信頼を獲得していくことを期待します。

## 電子機械科「課題研究」発表会

電子機械科4年生による課題研究発表会が1月20日（金）に行われました。

課題研究とは工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てることを目標とする教科で、本校では最終学年で学ぶ科目となっています。



今年度は『作品製作班』と『ホバークラフト班』の2つの班に分かれて授業が行われました。

作品製作班は『アルミ板を絞り加工した親子鍋』の製作と『建築内観写真を切り絵にしたものをアルミ鋳造したインテリア作品』の制作、ホバークラフト班は『実際に人を乗せて移動できる乗り物』を製作しました。

発表では1年間の学習活動成果を企画・計画・設計・製作までのプロセスをパワーポイントにまとめ、同科の3年生～1年生までの下級生の前でわかりやすく説明し、ものづくりのやりがいや楽しさを伝えていました。

また、休憩時にはホバークラフトの試乗会も行われ、後輩や先生方に体験していただきました。

